【学校通信】

平成 30 年 8 月 30 日
第 12 号

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長
大西　規之

【速報】平成３０年度全国学力調査・全国学習状況調査結果報告

３年生対象に、平成３０年４月１７日（火）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

（１）学力に関する調査

＜全国学力調査＞

〔国語Ａ・数学Ａ〕※それぞれ４５分

〇身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など〔主として「知識」に関する問題〕を中心とした出題

〔国語Ｂ・数学Ｂ〕※それぞれ４５分

〇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容〔主として「活用」に関する問題〕を中心とした出題

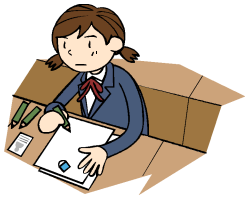
〔理科〕

〇理科については，主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

（２）生活習慣や学習環境等に関する調査（生徒質問紙）

＜全国学習状況調査＞

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査。



学力に関する調査結果について

「本校生徒の平均正答率」と「全国の平均正答率」との比較（※単位%）

国語Ａでは約＋２．９Ｐ、国語Ｂでは約＋１．８Ｐ、数学Ａでは約＋７．９Ｐ、数学Ｂでは約＋７．１Ｐ、理科では約＋４．９Ｐ

全国学力調査では、「知識・技能」等と知識・技能等を実生活の様々な場面に「活用する力」や、様々な課題解決のための構想を立て実践し「評価・改善する力」についても、国語、数学、理科ともにすべて全国の平均正答率を上回っております。

学習状況に関する調査結果について

（生徒質問紙の内「学習」に関する項目から抜粋）

①家で、自分で計画を立てて勉強している生徒は、全国平均と比較すると＋２．７Ｐです。昨年度は、－１．８Ｐでしたので大幅に改善されています。	
②家で学校の宿題をしている生徒は、全国平均と比較すると＋２．７Ｐで、昨年度と同レベルでした。	
③家で、学校の授業の予習、復習をしている生徒は、全国平均と比較すると－２．３Ｐです。昨年度は、予習しているが－７．１Ｐ、復習しているが－１０．４Ｐでしたので、大幅に改善されました。	
④学校の授業時間以外、平日（月～金曜日）に１時間以上学習する。（塾、家庭教師を含む）	６９．２（－１．４）
⑤家で予習・復習やテスト勉強などの自主学習において、教科書を使いながら学習していますか。	６４．８（－６．５）
⑥学校の授業以外に、普段（月～金曜日）に、３０分以上読書をする。	３１．４（＋０．５）
⑦１、２年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	６７．３（－５．５）
⑧１、２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	４５．３（－８．５）
⑨生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	７５．５（－０．８）

（※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒を「している」としました。⑤～⑨は全国平均と比較しました）

家庭学習の定着が昨年度までの課題でしたが、保護者のみなさまのご協力等で、家で宿題や予習・復習などを計画的に勉強している生徒が増えました。また、読書量についても昨年度までの課題でしたが、様々な取り組みで、平日に３０分以上読書をしている生徒も増えました。ただ、家庭における教科書を使った学習や授業中の自主性、発表の工夫、有効的な話し合い活動等が不十分であったことがわかりました。課題を解決すべく、今後も取り組んでいきたいと思います。